

■ 老人福祉センターの今後の方向について

1 趣旨及びこれまでの経緯

- 超高齢社会においては、高齢者が数の上で大きな割合を占め、社会の中で重要な役割を担っていくことが期待されており、福岡市においても、高齢者が意欲や能力に応じて社会の中で活躍できる仕組みや環境をつくっていくことが必要となっている。
- 老人福祉センターは、高齢者の社会参加や健康増進、教養の向上、レクリエーション等の拠点として設置しているが、開設から50年近くが経過しており、社会の情勢や高齢者のニーズを踏まえながら、時代に合った活用を図っていくことが課題となっている。(老人福祉センターの概要は別紙のとおり)
- そのため、「福岡市保健福祉総合計画」(平成28年6月策定)に、「健康づくり・介護予防や創業・就業支援など、シニアの積極的な活動支援にむけた機能への転換を検討」するとの方向を掲げ、実態調査の結果も踏まえながら、今後強化が必要な機能の検討を行ってきたところである。

2 今後の方向(案)

○「健康づくり」機能を強化するとともに、創業・就業支援による「生きがづくり」機能を新たに付加する。“アクティブシニア”として活躍するためのきっかけづくりの場として、意欲や能力に応じた社会の元気な支え手の創出に繋げていく。

【機能強化・新たな機能付加】 ※次頁のイメージ図参照

(1)「健康づくり」機能

- ◆ 健康づくりの拠点
- ◆ 健康づくりのモデル事業の場

※平成29年度以降に試行実施した機能
・認知症カフェ

(2) 創業・就業支援による「生きがづくり」機能

- ◆ シニア起業のきっかけづくりの場
- ◆ 多様な就業機会と出合える場
- ◆ 生きがづくりの場

※平成29年度以降に試行実施した機能
・スタートアップカフェと連携した起業セミナー
・シルバー人材センターによる就業セミナー
・高齢者が自ら企画するワークショップ

※ より親しみやすく、幅広く利用される施設となるよう、名称について愛称を公募予定。
(例) アクティブシニアプラザ 等

3 スケジュール

【平成30年度】

- 7月～ 老人福祉センター(7園)の指定管理者(平成31年度～)の公募開始
施設名称(愛称)の公募開始(予定)
- 12月 老人福祉センター各園指定管理者指定議案

【平成31年度】

- 4月 健康づくり機能・創業就業支援による生きがづくり機能の本格導入

<参考>

【福岡市保健福祉総合計画(高齢者分野)】

基本目標1「いきいきとしたシニアライフの実現」

<施策の方向性>

- ・高齢者が社会の中で「居場所」と「出番」をもって、いつまでも元気で活躍し、生きがいのある生活を送ることができるよう、様々な社会参加活動を支援します。
- ・社会参加活動の中でも特に望まれている就業分野について、シルバー人材センター等既存組織とのより良い連携方法を考えながら取組みを進めます。

施策1-3「活動の拠点づくり」

- ・老人福祉センターについて、健康づくり・介護予防や創業・就業支援など、シニアの積極的な活動支援にむけた機能への転換を検討します。

【実態調査結果(高齢者ニーズ)】

①福岡市高齢者実態調査(平成28年度)

対象者：市内に住む60歳以上の方3,000名(回収数1,886,回収率62.9%)

◆行政に力を入れてほしい高齢者に関する施策

選択項目(複数選択)	割合	センターでの実施状況
安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策	40.3%	対象外
在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策	35.5%	対象外
施設や道路、交通などにおける、高齢者にやさしいまちづくり	22.2%	対象外
食事や運動など健康づくり・介護予防を行う環境を整える施策	18.6%	一部実施
意欲と能力に応じた就業機会が得られるよう支援する施策	17.1%	未実施
地域活動やボランティア活動など、高齢者の社会貢献活動を支援する施策	12.4%	一部実施
講座などを通じて、豊かで健康的な生活を送れるよう支援する施策	11.0%	実施中

②老人福祉センター利用者アンケート調査(平成28年度)

対象者：福岡市立老人福祉センター利用登録者2,100名(回収数1,211,回収率57.7%)

◆今後の老人福祉センターへ要望・期待すること(事業関連)

回答内容(自由記入)	割合	センターでの実施状況
健康づくり	36.4%	一部実施
教室・講座の充実等、レクリエーション、イベント等	32.6%	実施中
介護予防・認知症予防	15.0%	未実施
ボランティア等の社会参加・創業・就業支援	8.3%	未実施
入浴事業	5.8%	実施中
各種相談	1.9%	実施中

【機能強化・新たな機能付加】アクティブシニアとして活躍するためのきっかけづくりの場として、意欲や能力に応じた社会の元気な支え手の創出に繋げていく。

(1)「健康づくり」機能



健康づくりの拠点

健康づくり事業の実施数を増やし、地域展開するための拠点化を図る。

- ◎よかトレ実践ステーション(65歳以上の市民5名以上の団体が、月2回以上よかトレ(市が推奨する体操)を実践する場所)の創出支援
- ◎よかドック・がん検診の場所提供
- ◎健康みらい予報(健診結果から糖尿病発症リスク等を予測するシステム)の活用
- ◎認知機能の検査実施
- ◎認知症カフェ実施



健康寿命の延伸



楽しいシニアライフ



健康づくりのモデル事業の場

健康づくりを支援する機関(福岡ヘルス・ラボ採択事業実施者等)によるモデル事業の実施場所として提供する。(データの収集・解析による健康長寿に効果的な施策につなげる)

(例)カラオケと体操を組み合わせたプログラムを用いた教室の実施により、参加者の健康状態、利用状況を定点観測する等



ビッグデータ解析による効果的施策



外出頻度や運動内容等、どんな日常行動が、認知症予防や介護予防につながっているかを裏付けられるデータとして公表できる見込み。

平成31年度以降の
事業展開



(2)創業・就業支援による「生きがいづくり」機能



シニア起業のきっかけづくりの場

高齢者のキャリアや知見を活かした起業へのきっかけを作るため、スタートアップカフェの出張セミナー等を実施する。



シニア起業で活躍



手作り物販



講演



多様な就業機会と出合える場

シルバー人材センター、70歳現役応援センター、ハローワーク等と連携したセミナー等を実施する。



自分らしい働き方で活躍



多様な働き方



生きがいづくりの拠点

アラカンフェスタの各区版や、R60倶楽部(高齢者が自らのアイデアで企画し事業等を実現する取組み)を実施する。

(各区版アラカンフェスタ・R60倶楽部)



社会参加活動等
輝くシニアライフ



ボランティア



地域カフェ